2025 年度 在学生アンケート 集計・総括

（実施期間）　2026 年1月
（対　　象）　2024 年 4 月入学・2026 年3月卒業 卒業年次生（53 名）
（回 答 数）　47 名（回答率 88.6%）
（実施方法）　アンケート用紙を担任から配付・ボックスで回収

①本学での学生生活は期待どおりですか？

	2M	2C
1 期待をかなり上回る	10	0
2 期待どおりだ	11	1
3 ある程度期待どおりだ	13	10
4 期待どおりではない	1	1
5 全く期待どおりではない	0	0

＜具体的回答＞
在学生の自由記述からは、「概ね期待どおり、もしくは期待以上」と感じている学生が多数を占めており、特に教職員の手厚いサポート、少人数制による学びやすさ、資格取得・就職支援の充実が高く評価されている。

●主な肯定的意見
- 先生との距離が近く、親身に相談に乗ってもらえる
- 少人数制のため質問しやすく、不安や悩みも気軽に相談でき安心して学べたという声が多い。
- 資格取得・就職支援が手厚い
- 想像以上に丁寧な就職サポートがあり、複数の資格取得に挑戦できた点を評価する意見が目立つ。
- 学びたい分野を専門的に学べている
- 心理学・ビジネス・語学など、興味関心に沿った科目を幅広く履修でき、学習内容への満足度が高い。
- 人間関係・雰囲気の良さ
- 先生・学生ともにフレンドリーで、良い友人に恵まれ、安心して学生生活を送れている。
- 自己成長の実感
- 資格取得や学修、学生生活を通して、自信がついた、人間的に成長できたと感じている学生が多い。

●一部に見られた課題・否定的意見
- 男女比の偏りや人間関係により、雰囲気に馴染めなかったという意見
- 授業外活動や行事が重なり、体力的・精神的に負担を感じたという声
- サポート面や教職員対応について、期待と異なると感じた学生も少数存在

【総合評価】
全体として、「想像以上に充実していた」「期待どおり、またはそれ以上」とする回答が多く、本学の少人数制教育と個別支援体制が学生の満足度向上につながっていることがうかがえる。一方で、学生生活の負担感や環境面については、今後も継続的な配慮・改善が求められる。

②東京立正短期大学の良いところは？

学生の自由記述からは、本学の特色として教職員との距離の近さ、少人数制による手厚い支援、資格取得・就職サポートの充実、そしてアットホームで落ち着いた学習環境が特に高く評価されていることが分かる。

●教職員との距離の近さ・手厚いサポート

多くの学生が「先生が優しく親身」「相談しやすい」「一人ひとりをよく見てくれている」と感じており、少人数制ならではの丁寧な指導やきめ細かな対応が安心感につながっている。事務職員も含め、教職員全体が話しかけやすく温かい雰囲気である点が評価されている。

●就職・資格取得支援の充実

就職サポートや資格取得に向けた支援が手厚く、「就活を安心して進められた」「資格を目指しやすい環境が整っている」といった声が多数見られた。短期間で複数の資格取得に挑戦できる点や、将来に直結する支援体制が学生の学習意欲を高めている。

●少人数制・アットホームな学習環境

小規模でアットホームな雰囲気の中、先生や学生同士の距離が近く、学年や専攻を越えた交流がしやすい点が魅力として挙げられている。授業中の発言や発表もしやすく、個々のペースに合わせた学びが可能である。

●行事・学生活動の充実

文化祭や学内行事、サークル活動、ボランティアなど、学生が主体的に関われる機会が多く、「行事が楽しい」「紫友会のイベントが充実している」という声が多い。これらを通して友人関係が広がり、充実した学生生活につながっている。

●学習環境・立地の良さ

校舎や図書館の居心地の良さ、学習環境の整備、PC 貸出などの柔軟な対応も評価されている。また、東京に立地し駅から通いやすい点や、自然を感じられる落ち着いたキャンパス環境も、過ごしやすさにつながっている。

【総合的評価】

全体として、本学は**「先生との距離が近く、安心して学べる」「サポートが手厚く、自分に合った学生生活を送れる」**大学であり、少人数制と温かな人間関係が、学生の満足度と成長を支えていることがうかがえる。

③東京立正短期大学の良くないところは？

学生の自由記述からは、学修内容や教職員への評価とは別に、施設・環境面、情報共有・運営面、少人数制ゆえの人間関係に関する課題が複数指摘されている。

●施設・設備・ICT 環境に関する課題

最も多く挙げられたのは、**Wi-Fi・通信環境の弱さ**であり、「ネットにつながりにくい」「授業や連絡で不便を感じる」という声が繰り返し見られた。また、

- ロッカーが小さい・遠い
- エレベーターが使えない
- 椅子が硬い、空調が寒い／暑い
- 自販機・給水機・コンビニなどが少ない
- 校舎の老朽化や虫の多さ

など、日常的な学習・生活環境に関する不満も一定数確認された。

●立地・キャンパス環境

「駅から遠い」「坂や階段が多い」「周辺に飲食店が少ない」といった**アクセス面・立地面での不便さ**を指摘する意見が見られた。

●情報共有・運営面

- 予定や連絡が直前になりがち
- ポータルや Teams での情報伝達が不十分、通知が届かない場合がある
- イベント運営が分かりにくい、負担が一部の学生に集中している

など、**連絡体制や運営方法の改善**を求める声が挙げられている。

●授業・学修環境に関する指摘

- 授業中に私語があり集中しづらい
- 騒がしい科目があるが注意が控えめ
- 体験型・グループワークが少ないと感じる学生もいる

といった、**授業環境や指導方法の面でのばらつき**が指摘された。

●少人数制ゆえの人間関係の難しさ

少人数制については評価が高い一方で、

- コミュニティが狭く人間関係が固定化しやすい
- グループ間の分断や孤立感を感じることがある

といった声も見られ、人間関係への配慮を求める意見が確認された。

●学事暦・負担感

- 祝日でも授業がある、休みが少ない
- 課題が多く負担を感じる場合がある

など、**日程面や学修負担感**に関する意見も一定数見受けられる。

【総括】

全体として、学生は教育内容や支援体制には高い満足を示す一方で、

ICT 環境の整備、施設・設備の改善、情報共有の明確化、少人数制に配慮した人間関係づくりについて、今後の継続的な改善を期待していることがうかがえる。

④東京立正短期大学に入学して「成長した」と思えることは？

学生の自由記述からは、学修や学生生活を通して、対人関係力・主体性・自己理解を中心に、社会人基礎力が大きく伸びたと実感している様子がうかがえる。

●コミュニケーション力・対人関係力の向上

最も多く挙げられたのは、**人と関わる力の成長**である。

人との距離感や言葉遣いに配慮できるようになった、相手を理解しようとする姿勢が身についた、人前での発表や意見表明への抵抗が減ったなど、円滑なコミュニケーション力が向上したという声が多く見られた。また、少人数制の環境で様々な人と関わる経験を通して、自信や積極性が育まれたと感じる学生が多い。

●自己理解・内面の成長

心理学やコミュニケーション学の学びを通して、**自分自身を客観的に見つめる力**が身についたという意見が多く挙げられた。他人と比較しすぎなくなった、完璧を求めすぎず人に頼れるようになった、考え方や心が強くなったなど、精神面での成長を実感する声が見られる。

●主体性・行動力・チャレンジ精神

資格取得、オープンキャンパススタッフ、紫友会活動、ボランティア、行事運営などへの参加を通して、**自分から行動する力**が身についたという回答が多い。「挑戦してみようと思えるようになった」「行動に結果を伴わせる努力ができるようになった」といった声から、主体性や継続力の向上がうかがえる。

●学修力・論理的思考力の向上

レポート作成や発表、課題への取り組みを通して、**考えを整理し言語化する力**、論理的に考える力が伸びたとする意見が多く見られた。文章作成力、プレゼンテーション力、PowerPoint などの ICT スキルが向上したという声も多い。

●生活面・自己管理能力の成長

通学や実習、一人暮らしの経験を通して、**早起き・時間管理・生活管理能力**が身についたという意見が多数寄せられた。スケジュール管理や計画的な学習、家事の自立など、社会人生活を見据えた成長を実感している学生がいる。

●資格取得・将来意識の芽生え

資格取得に向けた努力を通じて、達成感や成功体験を得られたことが自信につながったという声が多い。また、就職や将来像に対する意識が具体化し、社会に目を向ける姿勢が育まれたことも成長点として挙げられている。

【総合的評価】

全体として学生は、**「人と関わる力」「自分で考え行動する力」「社会で生きる基礎力」**が大きく成長したと感じており、少人数制の学修環境と丁寧な指導、実践的な学びが、学生一人ひとりの内面と行動の変化につながっていることがうかがえる。

⑤学生生活の満足度は？

	2M	2C
平均(%)	82.5	67.3

⑥受験生へのメッセージ

東京立正短期大学は、少人数制で先生や学生同士の距離が近く、温かく安心して過ごせる学校です。
先生方のサポートが手厚く、資格取得や就職支援も充実しているため、不安を抱えながらも自分のペースで成長できる 2 年間を送ることができます。落ち着いた環境の中で、仲間と支え合いながら学び、「来てよかった」と実感できる学生生活が待っています。受験への不安はあっても大丈夫。自分を信じて一歩踏み出してください。

在学生アンケート総括（2026 年 1 月実施）

今回実施した在学生アンケートからは、東京立正短期大学が**少人数制によるきめ細かな教育と、温かい人間関係に支えられた学修環境**を提供していることが、学生の声から明確に示されました。
多くの学生が、入学前の期待に対して「期待どおり、またはそれ以上」と感じており、特に**教職員との距離の近さ**や**親身なサポート体制**が、安心して学生生活を送れる要因として高く評価されています。先生や職員に

気軽に相談できる環境は、学修面のみならず、生活面・進路面での不安軽減につながっていることがうかがえます。

また、**資格取得支援や就職サポートの充実**については、多くの学生が具体的な成果や達成感を実感しており、自信の獲得や将来への意識の高まりにつながっています。短期間で集中的に学べる環境の中で、資格取得と単位修得を両立できる点も、本学ならではの強みとして挙げられました。

学修成果の面では、専門知識の修得に加え、**コミュニケーション力、主体性、自己理解、論理的思考力**といった社会人基礎力の成長を実感する声が多く見られました。少人数制の授業や発表、グループ活動、行事・課外活動などを通して、人と関わる力や自分で考え行動する力が育まれていることが確認されました。

一方で、**Wi-Fi 環境や施設・設備、情報共有の方法、立地面**などについては改善を求める意見もあり、学生生活をより快適にするための課題として認識されています。大学としては、こうした声を真摯に受け止め、学修環境および運営面の継続的な改善に努めていく必要があります。

総合的に見ると、東京立正短期大学は、**「温かい人間関係の中で、一人ひとりが安心して学び、成長できる短期大学」**として、学生の満足度と成長を着実に支えていることが、今回のアンケート結果から明らかになりました。本学は今後も、学生の声を大切にしながら、より良い教育・学生支援の充実を目指して取り組んでまいります。